（別紙4）

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3270400595
法人名	社会福祉法人　出雲南福祉会
事業所名	グループホーム　寿生の丘
所在地	島根県出雲市大津町3622－15
自己評価作成日	平成22年1月15日
評価結果市町村受理日	平成22年5月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.fukushi-shimane.or.jp/html/kaigojyouhou/index.html

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社ワイエム
所在地	島根県出雲市今市町650
訪問調査日	平成22年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

施設の開所時より認知症ケアの基本的理念「パーソンセンタードケア」であるご利用者を真ん中に置いたケアと寄り添いを心掛けてきました。
常にその人らしい、また笑顔のある暮らしが維持出来るよう支援しています。
幅広く地域との関わりを持つよう心がけ、「地域の中の寿生の丘」として向上を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

系列の医療法人と同法人で、病院、老健、支援センター、短期入所、ケアハウス、通所介護等様々な事業が展開され、連携も取れており、医療・保健・福祉の一体となったサービス提供は、利用者が安心して生活できる地域づくりの基盤ともなっている。
高齢者に対し、安心して暮らせるより良いケア環境を提供したいというホーム開設に至った経緯とも併せ、管理者、職員からは認知症のケアに対する熱意と情熱が感じられ、職員の声掛けや対応は、あくまで利用者のペースに合わせ、さりげなく穏やかであり、利用者を主体とし、あくまでもその生活に視点を置いてのうえのものであるといった感を受ける。
今年で5年連続しての外部評価であるが、事業所は次第に古くはなり、入居しておられる利用者のADLは低下はしてきてはいるものの、「一層明るくなったな…」と感じられる事業所であり、それは訪問当日の事業所内の様子や、職員からのヒアリングから推し量るに、共に過ごし支え合う関係があり、そのことが利用者や職員の笑顔を作り、事業所を明るくしている印象を与えさせるのではないかと考えられる。
利用者や職員の笑顔、利用者のいきいきとした生活ぶりからも、提供されているケアの質の高さと事業所の質の高さを窺い知ることができる。

Ｖ. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

Ⅴ. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	Ⅰ　理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念と運営方針を立てており、またケア目標も持ち、毎月の職員会議やユニット会議、毎日のカンファレンスを開き、理念の実践に取り組んでいる。職員自らの理念とすべく、朝礼時理念を唱和している。	ホーム独自の理念があり、これを基として、理念の具現化に向けた当該年度のケア目標が定められており、理念の具現化に向けての意識は高い。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治協会に入っており、情報提供を受けながら活動を拡大中。 公民館活動にも参加したり、町内の方の来所もあり、地域のボランティアとも歌やお話し等で交流を持っている。	自治協会に加入しており、地域で開催される公民館行事やイベントには、利用者とともに参加し、近隣の保育園や老人クラブとの交流も行われている。 ボランティアの来訪もあり、地域との付き合いは広がっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事の際、地域向けに老人疑似体験などのコーナーを設けるなどしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の現在の生活状況を報告し、意見交換を行い情報を得る事によって、サービスの向上に努めている。	２ヶ月に１回開催され、利用者の様子や事業の報告が行われるとともに、地域との連携や利用者の状況に応じた支援のあり方などについて、出された意見を事業運営に反映させている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通し情報交換をし、協力を得ながら関係を築いている。また、常に市と連携をとり、情報把握に努めるとともに、利用者を把握し良いケアが出来るよう努めている。	市の担当部署には事業所から運営などについての情報を提供し、意見や理解を求めてケアの向上に役立てるなど連携に取り組んでいる。	

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について勉強会を開き、全スタッフが理解している。止むを得ず必要な場合は、家族に十分な説明を行い、同意書をもらうようにしているが、実際に必要となった事例は、開設以来２件のみ。施錠に関しては職員が利用者の所在を把握し、自由に出入りできるよう施設全戸開放している。	マニュアルも整備されており、研修会も開催され、身体拘束をしないケア提供への意識は高く、施錠も含めて、止むを得ない場合を除き、身体拘束は行わない方向でのケア提供がなされており、昨年度は事例はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	認知症ケアの原則をステーション内に貼ったり、朝礼や申し送りにて各自再認識をするよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部講習に参加するとともに、家族会の場や職員研修の場を設け、周知を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際、利用者や家族に十分な説明を行い、話し合い、理解が得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設けており、苦情受付、苦情解決責任者、第三者委員等も明示している。 日頃のコミュニケーションの中でも、何でも話し易い雰囲気作りをし、苦情があれば都度対応し、運営に反映するよう努めている。	意見箱も設置され、家族の面会時には無理なく意見や要望を言える声掛けがなされ、また毎月、利用者の状況などを記した便りが送付されるなどの工夫も見られ、家族からの、意見や要望があればケアに生かす体制も作られている。	

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定期的な職員会議や、それ以外にも必要時には話し合いの場を設け、検討し改善に努めている。	当日の管理者や一般職員のヒアリングからも意見を表出する機械は多く、意見に関しては協議・検討がなされ、運営に反映されていることが窺えた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は日常的に管理者の意見を聞く場を持ち、管理者及び職員個々の状況把握をし、働きやすい環境、条件の整備に努めている。又、職員のスキルアップのための研修等の参加も積極的に推している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	可能な限り研修に出る機会を持ち、活かせるよう努めており、加えて伝達研修を実施したり、個人のステップアップ研修（資格取得等）を推進している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	小規模のグループホーム連絡会を作り交流している。 お互いの施設の見学や実習を行い、参考にし、向上出来るよう努めている。		
	Ⅱ	安心と信頼に向けた関係づくりと支援	.		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	申し込みの時点で相談にのり、入居決定時には実調に行き現状把握と信頼関係の構築に努めている。		

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項　　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 　サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申し込み時点で相談にのり、入居決定時には実調に行き、家族の気持ちを受け止め、現状把握と信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 　サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネジャーと連携を取り可能なサービス内容の助言、提案しており、現状を把握し、個々にあった支援が出来るようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 　職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者を中心に置き、家事や活動で共に出来るような場面を作り、常に寄り添い、共に生活をするような関係作りに努めており、日常生活の中でも、昔話や行事等で利用者から学ぶことも多い。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 　職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会を年２回開催し、毎月家族に連絡表を送っており、日常的にも家族と十分にコミュニケーションを取り、何でも言い合える環境作りに努めるとともに、利用者と家族双方の気持ちを理解し、良い関係が築いていけるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 　本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅や友人宅訪問の外出、馴染みの店での買い物や、理美容院の利用等の支援を行っており、友人の来訪もある。	利用者のそれまでの生活歴等はアセスメントで把握され、地域とのかかわり合いを念頭に置き、それまでの地域等との関係性を重視した支援がなされている。	

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の間に入るなどし、和やかな雰囲気作りを行い、一人ひとりに合った利用者同士の交流が持てるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	それまでの関係を大切にするようにしており、退居後の利用者との行き来や、家族からの連絡もあり、相談に応じ、良い関係が保てるよう努力している。		
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスやプラン立案時には出来るだけ本人に参加して頂き、意向に添った生活が出来る様にしており、意向の把握が困難な方は、表情や行動から読み取る様努めている。	本人の思いや意向に添うように努めており、意向把握が困難な場合は、利用者主体とし、家族から意見を聞いたり、日々の生活から意向を把握するよう努め、職員の一方的判断とならないよう注意している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や本人と日々の関わりの中から情報を得ており、入居前に担当していたケアマネジャーからの情報も得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録や申し送りを通し、日々の状態を把握するとともに、モニタリングやカンファレンスを通し、情報を共有し、状態把握に努めている。		

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人と、必要時には家族にも参加して頂き、意見交換を行い、随時ケアプランを検討、見直しを行っている。 状況に応じ、カンファレンス等を行い、作成している。	本人や必要に応じて家族や関係者とも意見交換・検討を行い、“望む生活”“あるべき人生”を実現するための課題を全職員で抽出し、協議・検討がなされ介護計画が策定されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケアの中での気付きや様子を記録し、報告する事によって情報を共有し、ケアプランに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	空き部屋利用のショートステイが出来るようにするなど、個々のニーズに合わせ、柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治協会にも入り、公民館活動に参加している。 民生委員やボランティアの方の協力を得、行事や外出を行っており、地域の保育園とも交流を持っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を基に、受診出来るように支援している。	利用前からの掛かりつけ医での医療が受けられるよう、家族等共に協力し通院介助を行ったり、訪問診療対応の医療機関を紹介したりしながら、本人や家族が納得できる受診支援を行っている。	

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項　　　　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師の為、常に相談しながら支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された病院とは情報交換を行い、連携を取り、随時状況把握に努め、いつでも受け入れ出来る体制を取っている。 施設においてはアフターケア等について情報交換に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期については、マニュアルを作成しており、利用者の状態に変化があった時は都度家族に報告、相談し、ドクターを含めて話し合い、全員で方針を共有し、事業所で出来る事を見極め、スタッフ一丸となって支援している。	本人や家族の意向を踏まえ、事業所で対応できる最良の支援方法を話し合っている。 実際に看取りを行ったケースがあることが職員の意識の向上に繋がっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者が看護師の為、定期的に勉強会を行い、学んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災・避難訓練を定期的に実施しており、消火設備のチェックも行っている。	消防署の協力を得、隣接のケアハウス、デイサービス等と共同で定期的に防災・避難訓練を行っており、非常時には関連施設の協力が得られる体制整備がなされている。	

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
	Ⅳ	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に自分や自分の身内の立場と置き換えてみたり、振り返りをしながら、人格を尊重する言葉掛けと、プライバシーを確保することを意識し、気を付けている。	排泄介助などの際もプライバシーが守られ、本人の「現実」を否定しないよう、全職員が意識統一を図って適切な声掛けがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の力に合わせ、行動や表情を読み取ったり、傾聴や説明を行い、待つ介護を心掛け、押しつけることなく自分で決めて頂くようしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り一人一人のペースや希望に沿って一日を過ごしてもらうよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来る限り自分で選ぶことが出来るように支援している。 理美容については、本人の希望に沿って移動理容室を利用したり、近隣の馴染みの美容室への送迎を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	曜日を決めて盛り付け、下膳、食器洗い等出来る方には役割のある生活をして頂いている。 自分専用の茶碗や箸、湯呑を使用する事で家庭での雰囲気に近づけている。	食事準備や後片付けは利用者と職員が一緒に行い、食事も職員は利用者と同テーブルで食べており、世間話などをしながらの和やかな食事風景であった。	

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己評価	外部評価	項　　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立に基づき、栄養バランスを考えたメニュー作りを行っている。 水分は1500ｍｌ以上を目標とし、水分摂取の為スポーツ飲料の寒天ゼリーを作ったり、いつでも飲める様に番茶を用意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人の状態にあわせたケアを行ってっている。(航空ウエットティシュ)シュやガーグルベースンの使用等で工夫している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握して、ケア提供している。 また、プライバシーを尊重し、嫌な思いをされないケアをするよう努めている。	排泄チェック表などから利用者一人ひとりの排泄のパターンを職員が把握、適時に誘導することによりトイレで排泄できるように支援している。また利用者の身体機能等に応じてのケア提供がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個人の状態に合わせた下剤の活用や水分補給、物繊維を含むおやつの工夫、適度な運動をして頂くなどし、きちんとした排便があるよう心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来る限り本人の希望時に併せて入浴して頂いており、汚染時には都度シャワー浴をして頂いている。 また、菖蒲湯やゆず湯など、季節を感じていただける入浴も実施している。	入浴に関してはあくまでも本人等の希望に合わせた入浴ケアが提供されている。 入浴を拒む利用者に対しては、言葉掛けや対応の工夫等によって一人ひとりに合わせた入浴支援がなされている。	

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項　　　　　目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来る限り一人一人のペースや希望に沿って一日を過ごしてもらうようにし、個別に休息を取って頂いており、夜間不眠時には、傾聴や寄り添い、ナイトミールの提供を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋や説明書を保管し、薬についての理解を深め、把握・共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴を踏まえ、花の手入れ、台所仕事、裁縫、外出等その人の出来る事や趣味を楽しめる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブやお茶に出掛けたり、施設周囲をを散歩したり外気浴等、個々の体調に合わせて行っている。 また、墓参りや他施設に入所中の家族への面会、遠足に出かける機会を作った。	利用者の意向を踏まえたドライブ外出や、近所への散歩等をはじめ、季節に応じた外出支援も実施されており、外出の機会は年毎に増えてきている。	日常的な散歩は、時の見当識への対応や気分転換、またストレス発散等といったことに関しての良いケアと考えられることから、定期的に実施している外出支援（行事）と合わせ、継続的な取り組みが望まれる。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族や本人の希望にて財布を持つ利用者もいる。 お金の管理ができない利用者は、希望時には預かり金から自由に買い物が楽しめる様支援をしており、買い物場面では本人が支払う様支援している。		

【セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時に電話がかけられる様支援をしている。 本人から家族に手紙を出せる様取り組んでいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂には季節の花を飾り、壁には季節ごとに貼り絵を飾っている。 また、玄関前に花等を植えて和やかな雰囲気にするなど、職員が常に気を配り、居心地の良い、空間作りに努めている。	ソファーやベンチが置かれ、畳敷きのスペースもあり、気の合った利用者同士が談笑する光景も見受けられた。 花や壁飾りなども季節感が感じられ、ベンチカバーや暖簾も利用者が作成したものであり、暖かく心が和む印象であった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	所々にソファーを置いて、個々や少人数でくつろげる空間を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれが馴染みの家具や使い慣れた小物を自由に持ち込み、居心地の良い空間になる様に工夫している。	利用者の希望で、タンスをはじめ、コタツや机、ミシン等の持ち込みが行われており、個性的な空間づくりがなされているとともに、利用者自身の趣味的活動を活かした生活感を感じることができる思い思いの空間が作られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有場所には分かる様に札を掛けたり、カレンダーは分かりやすい所に大きくつけている。個々の能力にあった活動できる場面を見出し働きかけている。		